

# たくましい子になろう教育塾

## 〈地域は 今〉

—— 航空宇宙エンジニア・木村雅文さんを称え、故里・福山で「はやぶさ」奇跡展が ——

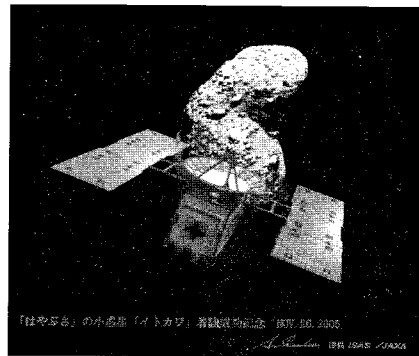
福山市中央図書館で「小惑星探査機『はやぶさ』2592日宇宙の旅」展が、'12年8月1日から開催され大きな反響を呼んでおります。「はやぶさ」は小惑星の微粒子を地球へ持ち帰り、地球の起源などを解明する人類史上初の快挙として世界中から注目されているのです。

世界の先進国が長年にわたって探査機を打ち上げても宇宙の過酷な悪条件のため着地に失敗を繰り返す中、川口淳一郎教授のもとで福山市出身の「木村雅文」さんらを中心とする日本の研究チームが世界の先陣を切って、日本の糸川博士の名を付した僅か540mほどの小惑星「イトカワ」に無事着地することに成功し10年6月に地球へ帰還したのです。

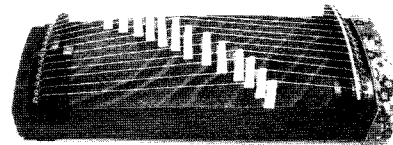
会場には、「はやぶさ」の模型やパネルなどの外、小さな琴が展示されていました。

この琴はスペースシャトル「ディスカバリー」に搭乗した宇宙飛行士・山崎直子さんが持ち込んだ琴と同型のミニ琴であります。琴に興味のある山崎さんが福山市の小川楽器製造株式会社（社長 小川賢三）に依頼して製作したもので、山崎さんが宇宙の空に日本の「さくら さくら」の美しい調べを響かせたのです。

49歳の若さで亡くなった木村さんの「宇宙への情熱を形に残そう」という同僚たちの思いが国際天文学会を動かし「小惑星「Masafumi」」が誕生したのでした。



「はやぶさ」の小惑星「イトカワ」着陸後回収容器 探査機 2592日 伊勢 伊勢 伊勢



琴の生産日本一を誇る福

山市と宇宙軌道の開発に貢献した福山市出身の木村さん。今回の展示会はまさに新生・福山市を象徴するかのような企画であるように思うのです。

この展示会を鑑賞された書家の田中蘆雪さんが、その思いを書に託され錦上花を添えられました。

不肖私は「木村雅文の生涯」のパンフを製作し展覧に供させていただきました。

航空宇宙エンジニア  
木村雅文の生涯



発行・編集 赤木博典  
元 福山市立豊取中学校 教諭  
元 広島県教育委員会 教育部長

福山は宇宙を翔ぶ  
福山の木村雅文  
星となり  
福山の琴は  
宇宙でさくら  
さくらを奏でる  
産宇

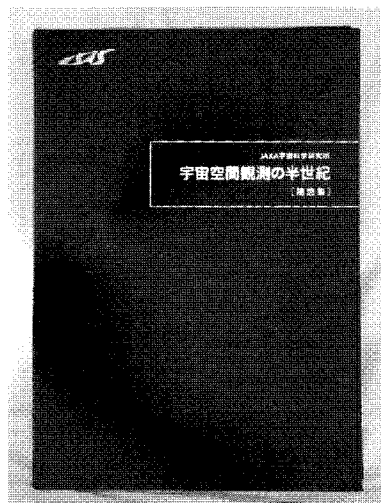
## 〈地域は 今〉

—— 今は亡き木村雅文さんを 友は語る…① ——

JAXA宇宙科学研究所から、「宇宙空間観測の半世紀 随想集」が発刊されました。

その中で木村雅文さんの四半世紀の歩みが先輩の小笠原雅弘さんによって紹介されています。

地球を周回する衛星の速度、「秒速7.9km」を超えるために歩んだ道のりを、一人の技術者（木村雅文）の生前の歩みを追いながら書かれており、その文面に載せられている同僚の人たちの語らいを通して今は亡き木村さんの職能、人柄、そして功勞をご推察ください。



「秒速7.9kmを超えて 一緒にあかつきの星へ」……

（NEC航空宇宙システム 小笠原雅弘）

宇宙研が太陽系への一步を印す2年前、1983年。一人の新人（木村雅文）が「さきがけ」チームに加わった。

彼は持ち前の好奇心と、何でも吸収してしまう若さに物言わせて、探査機の運用ソフトの開発に邁進した。

当時、「さきがけ」チームであった北出賢二が語る。

「駒場56号館5階で一緒にソフトの開発を行っていた頃を昨日のように思い出す。今では見慣れた正射影図やハンメル図であるが、運用ソフトに初めて導入したのはこのときで、グラフィックの使い勝手とセンスの良さは抜群であった。」「運用で上杉先生率いるチームが、多くの制約条件にも関わらず、スペースゴルフ、と称する見事な軌道制御プレーを完遂出来たのも、このソフトと彼の人柄の良さのおかげだと思う。」

「さきがけ」によって一步を印した太陽系への旅は、その後「ひてん」へ引き継がれた。

「ひてん」では初めて月の重力を利用するスイングバイに挑戦。

「ひてん」の軌道計画を彼（木村雅文）と一緒に担当した田中貴美恵は語る。

「グラフィック」表示して目で見ながら軌道設計を行うツールの開発を一緒に行ったのです。木村は軌道を空間的に表現し、図で表すことが得意で、目を輝かせてツールを考案していたことが印象的でした。」と、その当時を振り返る。

「ひてん」で得られたスイングバイ技術は、次の「のぞみ」で結実しようとしていた。…

「のぞみ」で彼と一緒に火星への軌道を作り上げた日高智成は語る。

「軌道決定の速報は予想外に大きな軌道に投入されたことを示しており、誰もが得られたデータの信憑性を疑っていた時、ボソッと私に囁いたのです。」

「このパターンは想定していなかった。間違いない。想定しなかったことは起こる！」この一言で軌道修正を行う覚悟を決めた。「あの一言は今も忘れられませんね。」

## 〈地域は 今〉

— 今は亡き木村雅文さんを 友は語る…② —

「はるか」でも彼の活躍があった。制御系の作業を彼と取り組んだ前田 健は語る。

「アンテナ制御用ソフトを開発しました。搭載計算機の能力が低く、適合する軌道モデルの開発に彼の生来の器用さが生きた。手間取った中で、この部分だけは、スマートに完成できました。彼の力ですね。本当に器用だった」…と当時を振り返った。

金星探査機「あかつき」が佳境を迎えつつある今現在、日高は「ここに木村がいてくれたらなあ」と語る。「専門技術もさることながら、システム設計や、多くの人が絡む仕様調整に、絶妙のバランス感覚と、誰でも味方にする人当たりの良さで、スイスイと難題を解決する。師匠、の大きさを痛感している。どんな現状でも決して悲観せず、何をするにも楽しそうな語り口が、私の苦しい時を支えてくれた。」そんな人でした。

2009年6月、最終運用を楽しみにしていた「かぐや」月面落下。それを前に彼は病に倒れた。8月11日、はっきりした意識が戻らないまま永眠、49歳であった。

秒速7.9kmを超えて「さきがけ」が太陽系を巡りだしてから24年。

暑い中、彼の告別式には大勢の参列者が詰めかけた。その中にジャーナリストとして長く木村と親交を温めていた松浦晋也がいた。告別式の晩、一人グラスを傾けながら松浦はブログに、木村を「KIMさん」と呼びかけながら、こう書いた。

私は「恐るべき旅路の掉尾を飾る「最後の勇者たち」の部分に、一度だけ、彼の名前を書き込んだ。KIMさんは出版を喜んでくれた…と思う。内心「コノヤロー余計なことを書きやがって」と思っていたのだとしても、少なくとも顔には出さなかった。

2005年初夏、私たちは町田で出版記念の祝杯を挙げ、間近となった「はやぶさ」のイトカワ探査に思いを馳せた。

今、彼の魂は「あかつき」に乗って、私たちのメッセージとともに旅立とうとしている。

「はやぶさ」を率いた川口淳一郎教授の文中には、「木村の協力で難航していた火星探査機、のぞみ、の飛行計画を徹夜で作り上げ、翌朝川口教授に報告、関係者一同大変に喜んだ」という一文が載せられていました。

（ ） 書きは、筆者が加筆



(川口教授)

(木村雅文)

## 〈子育て 孫育て〉

—— 個性を育てる子育てを、そのために親は ——

生まれてきた子どもを見て多くの親が心ひそかに、元気でよく勉強のできる可愛い子どもに育て、良い大学に入れ、立派な仕事に就かせ、生涯を豊かに暮らせる人間に育ててやりたいという思いを抱くものです。いつの時代も同じような思いを抱くのが親であります。

とりわけ現在の子どもは世界を舞台にした競争社会に挑むことを余儀なくされており、世界の学力観に基づいた勉強に力を入れるのは当然の成り行きであります。

しかし国を挙げて学力テストの平均点争いに興じ、`勉強・勉強`、`学力・学力`のコールに私たちは何か大切なことを見落としているように思うのです。

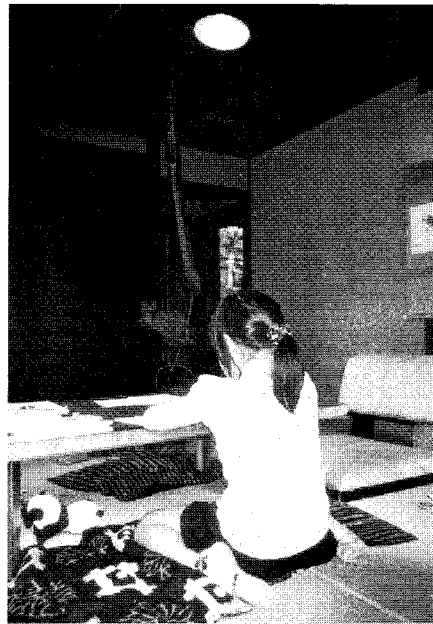
学校の勉強について行けずドロップアウトする子どもが増えているのでは！、という声をよく耳にします。今、大切なことは、「勉強が`できない`のではなく、`遅れているのだ`、という考え方に立って」子育てに当たることが親に求められているのです。

子どもはちょっとしたきっかけで勉強が分かり出し、面白くなり、認められる嬉しさを感じ、日に日に伸びていく晩成型の子どもが意外と多いことを心すべきだと思います。

しかし、すべての子どもが勉強が好きで良くできるとは限りません。大きくなるにつれて学力に差がつき、勉強の`好きな子`と`好きでない子`が現われるのです。

そこで必要なことは、先ず親自らが、「勉強は苦手だが他の面で優れた能力を持っている子どもには、その子どもの個性を最大限に伸ばしていく、それが`生きる力`を身に付け、社会の優等生へと育てて行く。」という思いを抱くことです。

これからの社会を生きる今の子どもに求められるのは、どの学校を卒業したかという`学校歴`よりも、何を学んだかという`学習歴`、何ができるかという`実践力`、そして、社会へ出て働きながら進化する技術革新社会へ立ち向かって勉強し研究するという`向学心`であります。そのために必要なことは、「自分で勉強するという、`自立的学習習慣`を小さい時に身に付けさせる」ことあります。それが学校や家庭の務めです。



—— 毎日こつこつと自分で勉強する子どもに ——

- この塾への参加は「無料・予約・秘密厳守」※場 所 〒721-0942 福山市引野町2丁目4-20
  - 開設日時 (火~金) 10:00~16:00 「フクツーけんこうプラザ」
  - 予約受付 (火~金) 10:00~15:50 ※交通案内
- TEL 084-943-6711 FAX 084-943-6719
- ・JR~東福山駅下車 北側道路を、岡山方面へ徒歩15分
  - ・井笠バス、JR福山駅から、高屋団地、大門団地、幕山団地、行き乗車、「天神前」下車

渋谷育英会・教育塾

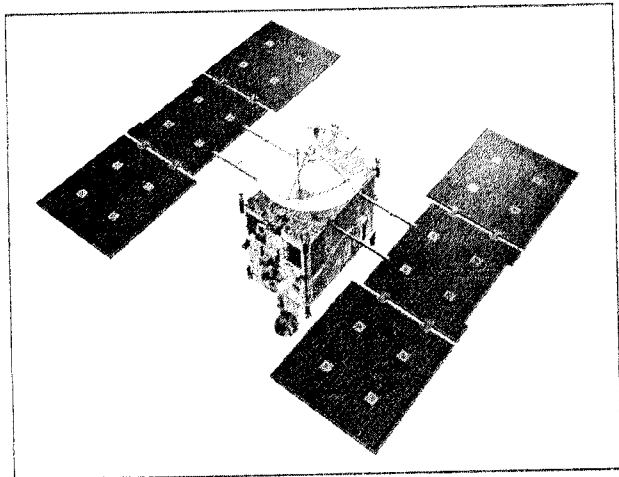
発行 たくましい子になろう教育塾  
福山市引野町2丁目4-20「フクツーけんこうプラザ」  
製作 重田印刷株式会社

# 中央図書館8月行事

展 示  
コーナー

## 小惑星探査機「はやぶさ」 2592日宇宙の旅

期間：8月1日(水)～9月3日(月)



※この写真はCGによるものです。

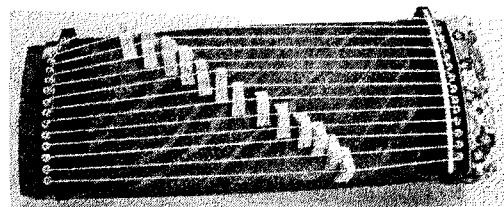
提供：宇宙航空研究開発機構（JAXA）

「はやぶさ」は小惑星の表面物質を地球に持ち帰るという目的で2003年（平成15年）5月に打ち上げられ、2010年（平成22年）6月に地球に帰還し、人類史上初の快挙として世界中から注目されました。

また、「はやぶさ」の展示と併せて、「はやぶさ」の運航を制御するソフトウェアを中心になって開発した、福山市出身の木村雅文さん（航空宇宙エンジニア）について紹介します。

## 宇宙に行った福山の琴

2010年（平成22年）の打ち上げで宇宙に持ち込まれた「宇宙琴」の展示も行います。スペースシャトル「ディスカバリー」に搭乗した山崎直子さんは、福山で製作されたミニサイズの琴を宇宙で演奏し、福山の伝統工芸品の美しい音色が宇宙に響き渡りました。



### あかちゃんといっしょの おはなし会

日時 8月15日(水)  
16日(木)  
午前11時～11時30分  
場所 3階集会室

### 読書会

#### 「あしの会」主催による例会

読本『収容所から来た遺書』  
辺見 じゅん／著  
文春文庫  
日時 8月10日(金) 午後1時～3時  
場所 3階集会室

### ビジネス相談会～経営全般・ビジネス支援～

○ボランティアによるビジネス相談会

日時 毎週水曜 午後1時～4時  
前日までに、電話または来館にて申し込み。  
※予約がある場合に行っています。

場所 2階 調査・研究コーナー

○中小企業診断士によるビジネス相談会

日時 8月25日(土) 午後1時～6時  
8月18日(土)までに、電話または来館にて申し込み。

※2012年8月から世羅町との広域利用を開始します。相互に個人貸出ができます。

8月の休館日…14日(火) (問い合わせ先) 福山市中央図書館 TEL 084-932-7222